

献身・礼拝・成長

ローマ人への手紙12章1-2節

2011年1月2日

HKJCF

I 観察

- 1、著者
パウロのローマ教会へあてた手紙
- 2、構成
1-11章：信仰による救い（教理）
12-16章：信仰による歩み（実践）
- 3、12-1、2の意味
12-1、2は献身と価値観：
信仰と生活を結ぶ帯

II 解釈

- 1、憐み（愛）によるすすめ
- 2、自分自身の全存在を献身：神様に信託
- 3、真の（ふさわしい：靈的な）礼拝
- 4、価値観の変革
- 5、み心を知り、み心に従う

III 適用

- 1、神の恵み（愛）を知る：
キリストは救い主
 - 2、神に人生を信託する：
キリストは人生の主
 - 3、み心を知り、み心に従う：
信仰と生活の一致
- ⇒キリストは救い主、人生の主
（愛による変革）
- ⇒祝福とは方法ではなく、主とともに歩むこと

IV 証

- 1、救いの確信
 - 2、献身の導き
 - 3、リカバリー（回復）の恵み
 - 4、家庭の祝福
 - 5、人生の完成へ
- 私の人生の要約「？」⇔献身が最大の祝福